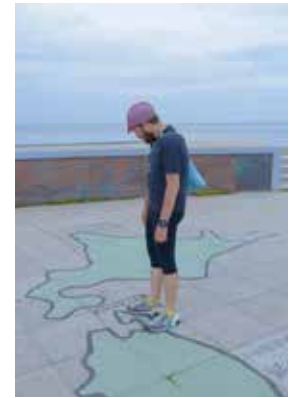




01



02



03



04



05



06

01/はまなすラインの適度なアップダウンは、走りより一層楽しくする。02/青森市から海を渡って佐井村までは、シラインの高速船ボラスターで。乗り心地も居心地も抜群。03/本州最北端、大間崎に立つ。海の向こうに見えるのは北海道だ。04/活きのいいイカはひょいと進むが、すぐに動かないイカもいる「元祖イカ様レース」。05/真っ青な津軽海峡を眺めながら下北の涼しい風に乗って走る。小さな峠を越えてむつ市の市街地を目指す。06/大間といえばマグロ。白飯が見えないほどの豪華なマグロ丼。身の旨味が口全体に広がる。

コース6 下北

Blue Sea & Forest Ride

青森から船で渡る、下北半島おまわり海の幸グルメツアー

6

走行距離:約67km 所要時間:約4時間30分



- A** 海峽荘
下北郡大間町大間17-734
TEL:0175-37-3691
<http://oma123.sakura.ne.jp/>
- B** 活イカ備蓄センター
下北郡風間浦村下風呂下風呂127
TEL:0175-36-2112
- C** 吉田ベーカリー 本店もんぶらん
むつ市新町9-25
TEL:0175-23-0148

後ろの荷室に自転車をそのまま載せ、青森港から出航する高速船ボラスターで下北半島に向かう。青森ベイブリッジの白い三角形が徐々に小さくなっていく。いざ、船旅の始まり。きれいな船内では、下北半島の魅力を紹介する映像を見たり、本を読んだり、窓の外のを眺めたり、ウトウトしたり…。この日の海は穏やかで、船の揺れも少なかった。遺跡のような仏ヶ浦の奇岩を船上から眺め、およそ2時間30分で終点の佐井港へ。

そこから自転車に跨がり、本州最北端の大間崎まで走る。大間といえば、マグロの一本釣り。マグロ

を外で売っている食堂に目移りしてしまう。すぐ横のキャンプ場には、数名のライダーがテントを張っている。

大間崎から車が少ない国道279号線「はまなすライン」を南下。風間浦村で、「元祖イカ様レース」を楽しんだ後は、その場で透き通ったイカ刺しをツルッとたいらげる。しばらく走ると、釜臥山の美しい夜景で有名なむつ市内の下北駅に到着。

船旅と自転車旅を組み合わせれば、下北半島のグルメも温泉も楽しめるのがこのルートの魅力だ。旅の締めくりに、甘くておいしい吉田ベーカリーのあんバターを忘れずに。